

防災通信 No.14

この通信はみなさんの防災意識を高めていただき、少しでも被害を小さく出来ることを目的に作成しています。ご意見等ありましたらお寄せください。

(グリーンテラス本郷台自治会)

大地震(自然災害)後の停電対応!

突然の大地震発生と停電(ライフライン停止)はいつ起こっても不思議ではありません。今回は、停電に対する対応を考えていきたいと思います。

① 停電の範囲を確認

停電は自宅だけなのか、グリーンテラスだけなのか、近隣一帯が停電しているのか、まずは、確認が必要です。停電は決して楽観視できるものではありません。ただ単に暗くなる、不便になるだけでなく、火災や感電の原因となり、命が危険に晒されることさえあります。夜間に停電が発生した場合、照明が必要ですが、電池式照明器具を準備しましょう。ろうそく等火器は火災の原因になるため、避けたいですね。

「自然災害後の停電は、慌てず、焦らず、冷静な行動を！」

② 通電火災対策

停電から復旧した際に火災の原因になるので電気ストーブやアイロン、ドライヤーなど発熱するものは、**コンセントに差しっぱなし**にせず、抜きましょう。家の外に避難する場合はブレーカーを出来るだけ「切」にしましょう。停電復旧後、破損、転倒した家電に通電(電気が通る)することで発生する「通電火災」が多く報告されているようです。地震による火災の過半数は電気が原因だそうです。特に冬場は通電後に動き出したヒーターが倒れて火災になるなど危険が高まります。

③ 冷蔵庫対策

冷蔵庫は停電時一番影響を受ける家電といっても過言ではありません。2～3時間の停電なら問題はありませんが、それ以上になると庫内の温度が上昇し、中の食材に影響します。

〈冷蔵庫の開閉はなるべく控える〉

開閉するたびに庫内の温度が上がります。冷気を逃がさないよう、開閉は最低限にしましょう。

〈非常食より前に、冷蔵庫内の食材を食べる〉

災害時はつい非常食を食べてしまいがちなのですが、まずは冷蔵庫の中の食材を消費しましょう。

〈冷蔵庫のまわりにタオルを敷く〉

停電が長引くと、霜や食材が溶け出し、冷蔵庫のまわりが水浸しになるそうです。あらかじめタオルを敷いておくと良さそうです。

平常時から、冷蔵庫には詰過ぎず冷気をうまく循環させ、冷凍庫には多めに保管しローリングストック方式で消費します。長引く停電時には、少しずつ冷凍食品を冷蔵庫に移し保冷剤代わりに使います。その時、冷凍食品を冷蔵庫の上段に入れて、冷蔵品を下段に入れておくと冷気を少しでも長く保てます。

停電時には、下に落ちている物に注意しその後の余震、あるいは更に大きな本震にも注意しましょう。2016年(平成28年)熊本地震では、気象庁震度階級で最も大きい震度7の揺れが4月14日と二日後の4月16日に発生しました。地震発生後しばらくは油断せず行動し、被害が最小限になるよう心がけていきましょう。

「天災は忘れた頃にやってくる！」

